

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

コナミホールディングス株式会社（証券コード:9766）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	ポジティブ
債券格付	A
発行登録債予備格付	A

■格付事由

- 当社は、デジタルエンタテインメント（DE）事業（モバイルゲーム、家庭用ゲーム、カードゲームなどの制作・販売）、スポーツ事業（スポーツクラブの運営）、ゲーミング&システム事業（カジノ施設向け機器などの製造・販売）、アミューズメント事業（アーケードゲーム、遊技機の製造・販売）をグループ会社で行う純粋持株会社である。多くの事業分野で業界の有力企業に位置付けられており、多様な収益源を持つ。グループの一体性は強く、格付はグループ全体の信用力を反映している。
- 主力の DE 事業はモバイルゲームを中心に成長軌道にある。保有する知的財産を活用し、安定収益源となるタイトルを着実に増やしている。研究開発投資を増やすなど、新たな潮流への対応にも余念がなく、同事業の安定性は高まりつつあると考えている。また、強固な財務基盤が崩れる懸念は小さい。ただし、新型コロナウイルス感染拡大を受け、DE 以外の事業へ下押し圧力がかかっている。当面は収束状況を注視する必要があり、格付は据え置き、見通しはポジティブを継続した。
- 20/3 期営業利益は 309 億円（前期比 38.7%減）となった。DE 事業が堅調だった一方、オフィス移転一時費用やスポーツ事業減損損失などが影響した。21/3 期第 1 四半期営業利益は 67 億円（前期比 32.4%減）となった。モバイルゲームの順調な運営に加え、巣ごもり消費の拡大が寄与し、DE 事業が好調に推移。一方、スポーツ事業は運営施設の臨時休業、アミューズメント事業およびゲーミング&システム事業は顧客施設の臨時休業などの影響を受けた。21/3 期業績予想は未定だが、DE 事業の下支えにより、一定の利益水準を維持できると JCR はみている。業績の回復動向を見定め、格付に反映させていく。
- 21/3 期第 1 四半期末の親会社所有者帰属持分比率は 64.3%で、ネットキャッシュポジションにあるなど、強固な財務基盤を有する。DE 事業への投資を増やす方針にあるが、手元流動性やキャッシュフロー創出力を考慮すれば、財務構成への影響は限定的である。

（担当）本西 明久・安部 将希

■格付対象

発行体：コナミホールディングス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	ポジティブ

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 12 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2020 年 7 月 16 日	2025 年 7 月 16 日	0.220%	A
第 13 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2020 年 7 月 16 日	2027 年 7 月 16 日	0.380%	A
第 14 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2020 年 7 月 16 日	2030 年 7 月 16 日	0.480%	A

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,000 億円	2020 年 6 月 20 日から 2 年間	A

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2020年9月9日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：本西 明久
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「国内事業法人・純粹持株会社に対する格付けの視点」(2003年7月1日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) コナミホールディングス株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル